

## ARTIST FOCUS #04

# 甫木元空 窓外 1991-2021

Sora Hokimoto inter face 1991-2021

2023年12月16日（土）～2024年2月18日（日）



甫木元空〈窓外〉より 2023年

高知ゆかりの作家を紹介するシリーズ企画・第4弾。

映画、音楽、小説……。

ジャンルを越境して活躍する表現者、甫木元空（ほきもと・そら、1992-）が、新作映像インスタレーションを中心に発表します。

## 1. 開催概要

展覧会名 ARTIST FOCUS #04 甫木元空 窓外 1991-2021

会期 2023年12月16日（土）～2024年2月18日（日）

9：00～17：00（入場は16：30まで） 休館：12月27日～1月1日

観覧料 一般370（290）円・大学生260（200）円・高校生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体割引料金。※年間観覧券所持者は無料。※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳及び被爆者健康手帳所持者とその介護者（1名）、高知県及び高知市長寿手帳所持者は無料。※本展観覧券で石元泰博・コレクション展もご覧いただけます（当日限り有効）。

会場 高知県立美術館 1階 第4展示室

主催 高知県立美術館（公益財団法人高知県文化財団）

後援 高知県教育委員会、高知市教育委員会、四万十町、四万十町教育委員会、高知新聞社、RKC高知放送、KUTV テレビ高知、KSS さんさんテレビ、KCB 高知ケーブルテレビ、エフエム高知、高知シティ FM 放送

## 概要

高知と東京を拠点に活動する映画作家、甫木元空の個展「窓外（そうがい） 1991-2021」を開催します。映画を基軸に据えながらも、音楽や小説などジャンル横断的に展開する甫木元の表現は、いま各界から注目を集めています。

本展は、自らの肉親の死に向き合った映画作家が、展示という枠組みを用いて私的な「記憶」と外的な「記録」の関係性を問い直す試みです。

甫木元は2017年に祖父と母が住む高知県四万十町に移住しました。その後病身の母を看取った21年までの約4年間、まるで日記をつけるかのように家族との日常をスマートフォンやフィルムカメラで撮り溜めてきました。そうしたある種の家族写真と、生前の父と母が甫木元の誕生以前の91年から撮り続けていたホームビデオが、本展の出品作品を構成する主な素材です。

少しずつ病み衰えていく母の姿と、健やかに成長していく息子の姿。極めて近い人間関係のなかで蓄積された、死と生に向かうそれぞれの旅路が収められた記録は、編集を通じてドキュメンタリーからフィクションへと変化します。本来の文脈から引き離して再構成された記録は、あたかも作家自身の記憶を繋ぎ合わせたロードムービーのように、新たな意味をもって私たちの前に現れるのです。

展覧会名の「窓外」における「窓」という言葉に、甫木元はこちらとあちら、ひいてはこの世とあの世を隔てる境界のイメージを重ねています。「窓の外」に旅立った故人の面影を編み直し、新たな表現の回路を拓こうとする作家の試みを、この機会にぜひお楽しみください。

### ARTIST FOCUS とは

ジャンルや年齢を問わず、当館学芸員が推薦した高知ゆかりの作家を紹介する展覧会シリーズです。

## 2. 本展のみどころ

### ① ジャンルを横断して活動する新進気鋭の表現者、甫木元空の美術館での初個展

映画監督・青山真治（1964-2022）に師事し、2人組バンド「Bialystocks（ピアリストックス）」のボーカルや作詞を担当。今年には小説家としてもデビューするなど、ジャンルを横断する活動で注目を受ける映画作家、甫木元空の公立美術館では初となる個展です。

### ② 出品作品は全て初公開の新作で構成。これまでの制作テーマを総括する展覧会

亡父が残したホームビデオを再編集した『終わりのない歌』（2014）、母が最期の日々を送った高知の実家が舞台となった『はだかのゆめ』（2022）などの監督映画にみられるように、甫木元はドキュメンタリーとフィクションを掛け合わせる手法によって「身近な人の不在／喪失」や「不在への向き合い方」といった普遍的なテーマを追求してきました。本展では、作家にとって初の試みとなる連作写真作品〈窓外〉のほか、新作のマルチチャンネルの映像インスタレーションを発表します。映画を表現の基軸に据える甫木元が、展示の枠組みを通じて記憶と記録の関係を問い直し、これまでの仕事に通底するテーマを総括します。

### ③ 甫木元の多岐にわたる活動を知ることができる、充実した関連イベント

作家本人によるトークイベントのほか、シンガーソングライターの前野健太とのライブ「はだかの

まど」、極上の音響と音量で映画を上映する「爆音映画祭」などを実施予定。マルチに活躍する甫木元の表現を、さまざまな角度からお楽しみいただけます。

### 3. 作家略歴

#### 甫木元 空（ほきもと・そら）

映画作家、音楽家、小説家。1992年、埼玉県越生町生まれ、高知県四万十町在住。多摩美術大学映像演劇学科卒業。大学在学中に映画監督・青山真治の指導を受ける。2016年、青山真治と仙頭武則の共同プロデュースにより、自身が監督、脚本、音楽をつとめた『はるねこ』で長編映画デビュー。『はるねこ』は全国劇場公開を果たし、第46回ロッテルダム国際映画祭コンペティション部門をはじめ国内外の複数の映画祭に招待された。21年、すさきまちかどギャラリー/旧三浦邸（高知）で開催した初個展「その次の季節」で、高知在住のビキニ事件被害者に取材した映像インスタレーションを発表して話題となる。また、2019年にバンド Bialystocks を結成し、ボーカルや作詞などを担当。22年にメジャーデビュー作『Quicksand』をリリースする。本作が収録する楽曲「はだかのゆめ」を主題歌とする長編第2作『はだかのゆめ』が同年に公開。23年には同名の小説で小説家としてもデビューした。主な著作に、『その次の季節 高知県被曝者の肖像』（this and that、2022年）、『はだかのゆめ』（新潮社、2023年）がある。



### 4. 関連イベント ※いずれも予定。イベントは変更となる可能性があります。

#### ① アーティスト・トーク（要事前申込・要観覧券）

美術館の閉館後、作家が会場で作品解説を行います。

日時：12月16日（土）17：15～

定員：25名

申込方法：11月25日（土）9：30よりお電話（088-866-8000）にてお申込みください。定員に達し次第、受付は終了いたします。お申し込みは一度のお電話につき1名様分のみ承ります。連名でのお申し込みはご遠慮ください。

会場：美術館1階 第4展示室

#### ② 「はだかのまど」甫木元空+前野健太ライブ

本展開催を記念して、甫木元とシンガーソングライターの前野健太のスペシャルライブを行います。

日時：12月17日（日）19：30開演（19:00開場）※上演時間は約1時間を予定

会場：高知県立美術館ホール

入場料：一般前売り2,000円、当日2,500円

前売券販売所：ローソンチケットのみ【Lコード：62495】※販売開始は10月20日（金）10：00～

\*全席自由。\*未就学児のご入場はご遠慮ください。\*身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳所持者とその介護者（1名）は3割引です。手帳所持者の方は、事前にお電話（088-866-8000/9:00～17:00）にてご予約ください。

**前野 健太 (まえの・けんた)**

1979年、埼玉県入間市生まれ。2007年『ロマンスカー』によりデビュー。ライブ活動を精力的に行い、「FUJI ROCK FESTIVAL」「SUMMER SONIC」など音楽フェスへの出演を重ねる。俳優活動においては、主演映画『ライブテープ』が第22回東京国際映画祭「日本映画・ある視点部門」作品賞を受賞。NHK大河ドラマ『いだてん～東京オリムピック噺～』他、TVドラマ、CM、映画、舞台に出演。甫木元の監督映画『はだかのゆめ』にもおんちゃん役で出演している。エッセイ集『百年後』を刊行するなど、文筆活動にもファンが多く、他アーティストへの楽曲・歌詞提供も行う。2022年4月、4年ぶりとなるオリジナルアルバム『ワイチャイ』を発表。



公式サイト▷ <https://maenokenta.com>

**③ 爆音映画祭 IN 高知県立美術館**

ライブ用機材を使って、極上の音響と音量で映画を上映します。爆音で観るならこれ！という名作のほか、甫木元のおすすめ作品など、当館ならではのラインナップでお届けします。21日には甫木元によるトークイベントも実施予定。

日程：2024年1月20日（土）・21日（日）

会場：高知県立美術館ホール

協力：boid

※詳細は後日当館 Web サイトにてお知らせします

**④ 担当学芸員によるギャラリートーク (要観覧券)**

日時：2024年2月3日（土）14:00～

会場：美術館1階 第4展示室

**5. 同時期開催****●コレクション展**

- ・石元泰博・コレクション展「フォトセンターの10年」2期

12月23日（土）～2024年2月12日（月・休）

休館：12月27日～1月1日

- ・石元泰博・コレクション展「フォトセンターの10年」3期

2024年2月14日（水）～3月31日（日）

本展観覧券（当日限り有効）で、甫木元が敬愛する高知ゆかりの世界の写実家、石元泰博（1921-2012）のコレクション展もご覧いただけます。当館ウェブサイト▷ <https://moak.jp/event/collection/cat49/>

**●企画展**

- ・高知放送開局70周年・高知県立美術館開館30周年記念「ジブリパークとジブリ展」

12月23日（土）～2024年3月31日（日）



**石元泰博**  
フォトセンター  
高知県立美術館



石元泰博《東京 山の手線・29》1981-83年  
©高知県、石元泰博フォトセンター

## 6. 広報画像



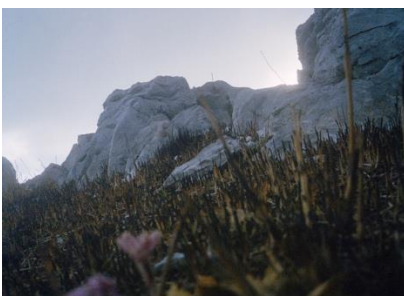
1



2

3

4



5

6

7

・広報目的の利用に限り、1～7の作品画像データをご提供いたします。お問合せ先までご連絡ください。

・掲載の際には、以下のキャプションの併記をお願いいたします（シリーズ作品のため、1～7のキャプションの文言はすべて共通しています）。

甫木元空〈窗外〉より 2023年

・画像のトリミングや文字載せはご遠慮ください。

・雑誌等に画像を掲載する場合、掲載誌を1部ご送付ください。

## 7. 問い合わせ先

高知県立美術館

〒781-8123 高知県高知市高須 353-2

Tel: 088-866-8000 Fax: 088-866-8008

担当：学芸課 塚本麻莉 E-mail: mari\_nakamura@kochi-bunkazaidan.or.jp